

会員の皆さま方にご好評をいただいております！

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

喫煙

運動不足

肥満

高血圧

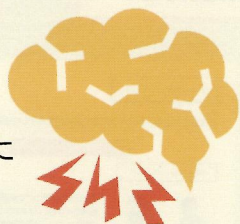
偏食



脳梗塞・心筋梗塞の 将来リスクお調べします！

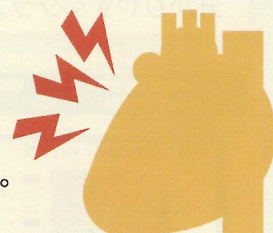
脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患。
「3人に1人」が死亡か後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険のある疾患。
年間「約15万人」が発症。



新しい検査で
発症危険度を
チェック！

血液検査でわかる脳梗塞・心筋梗塞の可能性

LOX-index

ロックス・インデックス

検査の 特徴



◎動脈硬化の原因物質を測定

血液中に隠れている動脈硬化の
原因物質の量を調べる



血液壁から
切り離されたLOX-1

◎採血（約2ml）で検査可能

◎脳梗塞・心筋梗塞の 将来の発病リスクを予測

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール〔酸化変性LDL〕と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる〔LOX-1〕というたんぱく質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度（リスク）を予測いたします。

Q&A

よくあるご質問

このような方にお勧めします

- ☐ 肥満気味である
- ☐ 高血圧、脂質異常症、
糖尿病などの持病がある
- ☐ 脂っこい食事や
塩辛い食べ物をよく食べる
- ☐ たばこを吸っている
もしくは吸っていた
- ☐ 定期的に運動をしていない



Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。食前や食後に影響なく受診頂けます。

Q. 実際に脳梗塞になっているか分かりますか？

いいえ。実際に脳梗塞になっているかどうかを見て
いるのではなく、将来的に脳梗塞や心筋梗塞になり
やすい状態にあるかどうかを調べるための検査です。

Q. 検査は一度だけ受ければよいの？

採血した時点の体質を見るものとなりますので、年
に一度程度、健診や人間ドックに併せてのご受診を
お勧めします。数値は食生活や運動の習慣によって
改善することも可能です。

Q. 検査結果が悪かった場合は？

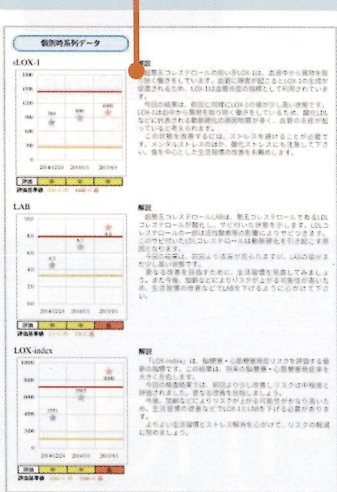
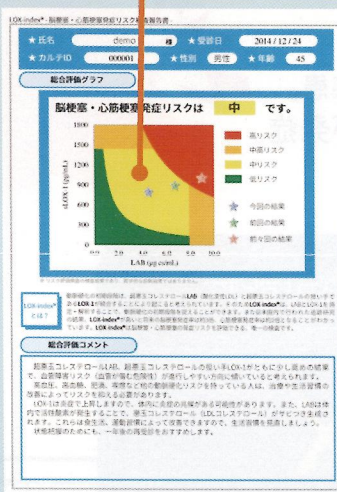
検査レポートのアドバイスに従って生活習慣などの
見直しを行うことをお勧め致します。また、実際に
動脈硬化が進行している可能性も高いので、必要に
応じて血管の硬さやつまり具合を調べる検査の受診
もお勧めします。

検査結果は、詳細なレポートでご報告致します。

発症リスクのレベルを
分かりやすくグラフで記載。

過去の検査結果からの
推移も一覧できる解説付き。

生活習慣改善のための
アドバイス別冊子つき



LOX-1を改善するために

LOX-1の値が高い方は血中の脂質が高くなっている傾向があります。

LOX-1の値を下げるためには

高血圧や糖尿病などの疾患によって、LOX-1の値は高くなる傾向があります。これらの疾患をお持ちの方は、治療を進めることで、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを下げることが出来ます。

減塩や減糖を心がけて、血圧の上昇を抑えることが出来ます。例えば、お粥やうどんなどの麺類や、味噌汁、漬物などを減らすことで、塩分が少なくなると良いでしょう。

中年男性が体重を下げることによってLOX-1の値が下がったという報告があります。肥満の解消には有酸素運動が効果的。毎週20分以上の運動を続けることで、血圧も改善されていきます。

LDLコレステロールはLDL-Cを低下させることが目的であり、LDL-Cが低下することで、LDLが動脈硬化の原因となります。LDLが動脈硬化の原因となることで、LDLが動脈硬化の原因となります。また、アルコールを飲む際には大量の飲酒を避けてください。上記のLDL-C値の改善を促すため、LDL-C値を下げることが重要です。

LABの値が高い方は、体内の酸化ストレスが高い傾向にあります。

LABの値を下げるためには

野菜、果物、豆類などの食品によって、LABの値は高くなる傾向があります。これらの食品は抗酸化作用（抗酸化作用）によって、体内の酸化ストレスを低下させることが出来ます。

野菜、果物、豆類などの食品は、抗酸化作用（抗酸化作用）によって、体内の酸化ストレスを低下させることが出来ます。

野菜、果物、豆類などの食品は、抗酸化作用（抗酸化作用）によって、体内の酸化ストレスを低下させることが出来ます。

◆予約に関するお問い合わせ



一般財団法人 全日本労働福祉協会 渉外部

TEL : 03-5767-1714